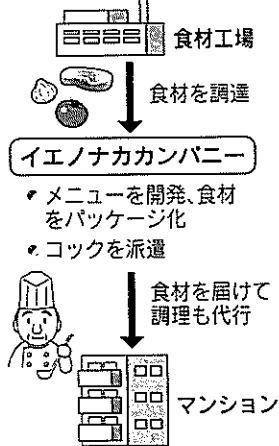


中小のサービス会社

マンション向け 生活支援に商機

中小のサービス会社が炊事代行やクリーニング品の集配、保育所運営など、マンション居住者向けの生活支援事業を広げている。住民向けサービスの充実で物件の魅力を高めたい不動産会社と組み、数十〜数百戸分の仕事を一手に引き受けてブランドや営業力の不足を補う。大手では難しいきめ細かな対応で、共働きの増加や高齢化で高まる需要を掘り起こす。

炊事代行サービスの仕組み



炊事代行や保育所併設 不動産と組み一括受注



喜久屋の委託先が、マンションからクリーニング品を運び出す(東京・新宿)

家事代行のイエノナカカンパニー(東京・千代田)は2月、マンションや高齢者専用賃貸住宅の入居者向けに炊事代行サービスを始める。東京建物が東京都内で開発した高専賃「グレイブス浅草」でまず開始。共働き世帯が多いマンションにも売り込み、9月までに20棟に導入する計画だ。高齢者がのみ込みやすいよう加工した食材を使う独自メニューを開発。夕食と翌日の朝食用に5種類の料理を用意し、調理人も派遣する。サービスを週3回受ける場合、料金は1世帯で月5万9800円。対象を絞ることで派遣する調理人などの移動を減らし、採算をとりやすくするという。保育所運営のタスク・フォース(大阪市)はマンション併設の保育所を2012年までに5割増の約15カ所にする。このほど東京都八王子市や堺市などで開発中のマンションへの設置を決めた。保育所は広さが150〜250平方メートル、デベロッパーが居住棟と同時に建設し、マンションの居住者を中心に受け入れる。タスク・フォースは

まとまった受注が見込めるほか、初期投資を抑えて施設を開設できるメリットがある。

クリーニングの喜久屋

(東京・足立)は集配クリーニングの対象を4月末までに現在の1.7倍の50棟に増やす。マンション管理会社から業務を請け負い、全国のクリーニング会社に委託する。協力先のクリーニング会社も4月末までに3割増の30社に増やす。家事代行のカジタク(東京・江東)はマンションのコンシェルジュサービスを始めた。伊藤忠都市開発が東京都北区で開発した賃貸マンションでサービスを開始。入り口などに担当者常駐し、住民の問い合わせや要望に対応する。9月末までに30棟へのサービス提供を目指す。マンション居住者向けにサービスを提供すれば、ブランド力の低い中小でも一定規模の利用者を確保しやすい。共働き世帯の増加などで市場は拡大しつつあり、不動産会社も販売低迷の打開策として導入に前向きだ。マンションの仕様などに合わせたきめ細かい対応が必要のため、通常の店舗で集客できる大手があまり手掛けていないのも中小にはプラス。カジタクのように新サービスを通じて本業の家事代行の顧客獲得を狙う動きもあり、今後中小の参入が相次ぎそうだ。